



学校教育目標

吹上小学校

- 心のあたかい子
- 考え実践する子
- 体も心もたくましい子



吹上中学校

- 自ら考え学ぶ生徒
- 心身ともにたくましい生徒
- 情操豊かな生徒



千塚小学校

- 美しさのわかるやさしい子ども
- よく考え勉強する子ども
- 健康でたくましい子ども



3校の目指す子ども像

— ふるさとに愛着と誇りをもつ子ども —

確かな学力

意欲的に学ぶ子ども

豊かな心

自他を認め合い思いやりのある子ども

健やかな体

心身ともにたくましい子ども

各発達段階で身に付けさせたい力 ～9年間を見通した指導～

区分		確かな学力			豊かな心			健やかな体		
		学習態度	学び合い	家庭学習	あいさつ	自己有用感	規範意識	生活習慣	運動習慣	心の安定
中学校	中3	将来の夢に向かって、計画的に学習を進めることができる。	話し合い活動や発表を通して、個人や集団の考えを深めることができる。	家庭学習に目標を持ち、計画的に取り組むことができる。	明るい学校・地域づくりを目指して場に合ったあいさつができる。	自分の役割を自覚し、学校や地域のために貢献することができる。	学校や社会のきまりを守り、礼儀正しく行動しようとすることができる。	健康な体を維持するため、バランスのよい食事と睡眠時間の確保を心がけて生活することができる。	積極的に運動を取り入れ、体力の増進を意識した生活を送ることができる。	自分に合ったメンタルヘルスを考え、学校生活を送ることができる。
	中2									
小学校	中1	学習の工夫をし、積極的に学習に取り組むことができる。	ペアやグループ活動を通して自分の考えを表現することができる。	家庭学習に自ら進んで取り組むことができる。	明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる。	友だちや家族のために、進んで役割を果たすことができる。	学校や社会のきまりを守り、節度ある行動をすることができる。	望ましい食習慣と規則正しい生活を送ることができる。	体育の授業や部活動に積極的に参加し、運動に親しむことができる。	他者とのつながりを大切にしながら、学校生活を送ることができる。
	小6									
	小5									
	小4	きちんと相手を見て話を聞き、内容を理解することができる。	自分の考えと比べながら、話を聞くことができる。	家庭学習の習慣を身に付けることができる。	明るく元気なあいさつができる。	与えられた役割を果たすことができる。	学級や学校のきまりを守ることができる。	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを守ることができる。	休み時間には元気に外遊びができる。	友だちと仲良く、学校生活を送ることができる。
	小3									
	小2									
	小1									

本年度の取組

重点目標	① 協働的学習を通して、意欲的に学ぶことができる児童生徒の育成	② 他者とのコミュニケーションを大切に、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成
取組内容 評価項目	◆教え合い・学び合う協働的学習を効果的に実践し、児童生徒の学習意欲・学力の向上を図る。 ◆ICT(デジタル教材等)や具体物等を効果的に活用した授業改善を図り、児童生徒の学習意欲・学力向上につなげる。	◆係活動や委員会活動、学校行事を通して、児童生徒が主体的に役割を担い、協力して学校生活を送ることができるようにする。 ◆情報モラル教育を充実させ、インターネットやSNSの適切な活用について理解を深め、他者を尊重し、思いやりのあるコミュニケーションができるようにする。
成果指標	【教員アンケート】で、「単元毎に協働的学習の場面を設定し、児童生徒の（学習意欲）や学力向上につながった。」「ICT(デジタル教材等)や具体物等を効果的に活用した授業改善を行い、児童生徒の（学習意欲）や学力向上につながった。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】で、「友達同士で教え合い学び合って、学習を最後まで頑張ることができた。」「友達同士で教え合い学び合って、考えを広げたり深めたりすることができた。」「ICT等を活用し、学習を最後まで頑張ることができた。」「ICT等を活用し、考えを広げたり深めたりすることができた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。	【教員アンケート】で、「係や委員会、学校行事において、児童生徒が主体的に役割を担えるような工夫や取組を行った。」「情報モラルを高めるための取組を学校教育全体の中で意図的・計画的に実践できた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】で、「係や委員会、学校行事等での自分の仕事を、進んで行っている」「情報モラルに関する正しい知識を理解し、楽しく学校生活を送ることができた。」の設問について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合が80%以上になる。